

な か ま

福岡県知的障害者施設家族会連合会 会報

発行
福岡県知的障害者
施設家族会連合会
(略称：福施連)

編集
広報委員会

〒812-0854
福岡市博多区東月隈
3-1-4-106
☎/FAX (092) 503-0579

始めよう国会請願の署名を！

全国大会再開は5年度から

10月27日全施連常任委員会がオンライン形式で開催されました。全国的に各施設は家族との面会や家族会集会在禁止されている中で福岡県支部は、公明党との意見交換や久留米市・八女市への請願採択に向けた活動を報告しました。

▼各政党への公開質問状について

従来から国会議員選挙の度に、全施連としての要望事項に対する各政党の回答を受けていましたが、今回は取り組みが遅れたため早急に提出することになりました。

▼頑張ろう署名集めて国会請願を！

約14年前、4項目の国会請願を全国的に集めて審議を求めた活動をしました。解散で不発になり、時間をかけてもう一度署名を集めて実施することに決定しました。

但し、請願項目を再点検し、要望項目への全会員の理解を深めつつ署

名を広げること。併せて未組織家族会への署名依頼と組織拡大活動も積極的に進めることにしました。

▼会費値上げについて

値上げの必要性に理解を深めて最終決定を図ることになりました。

▼全国大会は令和5年度に予定

熊本市で開催予定だった全国大会はコロナ問題で中止されていました。令和5年度開催に向けて再検討中です。

福施連書面採決の総会

新役員紹介

コロナウイルス感染症拡大のため昨年度同様定期総会を開催できず、活動方針・予算案・役員改選案の書面採決となりました。21家族会中、白紙回答1がありました。他は賛同を得ることが出来ました。また、1家族会から加入施設数、

会計監査員の意見の有無、会員減少理由等の質問があり、文書にて回答しました。

◎ 今年度の活動方針

- 1、24時間一貫した快適な入所施設新設の請願活動
- 2、行政機関・議会政党各派への陳情と意見交換
- 3、組織の拡大強化
- 4、活動力強化の研修会開催
- 5、会報「ななま」年2回発行
- 6、家族会内部学習会開催

他、友誼団体・全施連九州協議会との連携。

◎ 役員改選決定 (敬称略)

- 会長 八木トミエ 養徳苑
 - 副会長 奥昭義 第二田川学園
 - 同 庄山祝 蓮の実園
 - 同 矢野宏之 ひびき学園
 - 同 松木信子 第二赤坂園
 - 事務局長・会計 坂井和市 板屋学園
- ◎ 各組織副委員長
- ・行政 田中勝子(城山学園)・広報 横山緑(蓮の実団地)・研修 小田部忠夫(個人)・組織 未定

県本部・北九州市

公明党議員団と意見交換

令和3年8月2日公明党福岡県本部から、また8月10日には北九州市議会議員団から福施連に対して、要望事項の提出と意見交換の案内がありました。

福施連としては、請願4項目の

同じ内容を毎年30分の時間では、説明だけで意見交換の場にはならないので時間延長を強く要望しました。が、次回からの課題になりました。

8月2日の参加者は、参議院高瀬議員・下野議員、福岡県議会西尾議員・二宮議員・福岡市議会川上議員と公明党県本部職員稲田氏の六名が出席され、福施連から八木・奥・庄山・松木・田中の役員5名が出席しました。

また、北九州市議会議員団への要望事項提出と意見交換にも、同じく時間不足を訴え、次回からの改善をお願いし退出しました。

公明党からは吉田衆議院議員・志岐県会議員・北九州市議会の本田議員・岡本議員・富士川議員の出席があり、福施連からは八木・奥・田中の三役員が出席しました。

久留米市議会

への請願進行

7月28日、久留米市議会に対する全施連の請願採択に向けて、八木・奥・田中・松木の役員4名は、5名の公明党議員と面談し、請願4項目の説明を行いました。

公明党田中議員団長は、他党派の意向を気にしておられました。内容は検討すること、賛否の回答は得られず散会しました。

更に9月2日久留米市役所で自民党議員団との意見交換を行いました。

特に質問もなく終始好意的な対応で接して頂き、請願採択の協力が得られる感触でした。

その後共産党など諸派のグループの議員控室にも請願文書を提出して、在室の女性議員に理解と協力をお願いし、笑顔にて対応いただきました。請願議案は、12月議会で審議される見込みですが、採択決議が期待されます。

この日は八木・田中・坂井の3名の執行部役員が参加しました。

●久留米市議会へ

請願書提出

10月14日、公明党田中議員が紹介議員になって下さり、久留米市議会議長へ請願書を郵送しました。

12月議会に提出、審議されるということです。

また、10月5日には八女市議会へも請願書を郵送しましたが、議会が始まったら委員会へ要旨説明に行くことになっています。

嬉野市議会で請願採択

蓮の実園家族会副会長で福施連副会長の庄山祝氏が、自宅が佐賀県嬉野市にあるため、議会での全施連請願4項目の採択を知人の議員にお願いして紹介議員になって頂きましたが、佐賀県内であるため全施連佐賀県支部からの提出になりました。

その結果4項目めの文言が一部修正されて9月議会で採択されました。

修正部分は請願の根幹部分でもなく、今後に尾を引くことはないと思われ、今後の福施連も佐賀県支部名義提出を了解しました。



コロナ禍での施設の状況

福岡県知的障がい者福祉協会 会長 木高徳典

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生して早1年8カ月が過ぎました。この間私たちは、障害福祉サービス事業者として

障害者の安心・安全な暮らしを守り、様々な場面において困難さを持つ人たちに、適切な支援を行うことで、日常生活を円滑に行えるように支援を行うことを常に念頭に置き、日々の支援にあたってきました。

この状況の中で、県内の障害福祉サービス事業所でも感染者、クラスターが発生しました。報告をいただきました事業所102名の方々の感染が確認されました。

8月以降、福岡県では基礎疾患のある方々や障害者支援施設で働く方へのワクチンの優先接種などにより、障害者施設での発生は2名でした。(報告があった施設のみ)

現在、日本では感染者数も減り緊急事態宣言などの特別な要請も解除されましたが、まだまだ予断を許さない状況です。

施設家族会紹介

有明ホーム

有明ホームは社会福祉法人あけぼの会の6施設グループの一つで大牟田ワークショップセンター、生活支援センターにすもすが併設され、大牟田市櫛野に位置しています。

家族会は、総会年一回、定例会(4日曜日)を月の面会日に合わせて意見交換を開催しています。昨年と今年はコロナの影響により定例会も数回ほどしかできませんでしたが、利用者の高齢化が進み、職員さんのご苦労も以前に増していると思えます。最近の利用者の楽しみの一つ

新たな生活様式を取り入れ、しっかりとした感染予防に取り組み、利用される方々の安心安全な充実した生活のための取り組みに向けてさらに精進してまいります。
ご家族の皆様には今後ともご理解ご協力のほど、改めてお願い申し上げます。

がマイクロバスでの外出訓練ですが家族会も、旅行積立金を協力金として提供しております。このように利用者環境が良くなることに、家族会も積極的に取り組んでいきたいと思っています。また、最近はコロナの新規感染者の数が激減しているのですが、このまま収束することを願っています。



バスで外出訓練風景

賑やかに意見交換した

学習会

4月25日、クローバープラザにて今年度の福祉連内部学習会が開催されました。

コロナ感染症拡大の影響で、参加者は15名でしたが、入館時には検温・手指消毒・室内換気・座席配置も考慮しながら、活発な意見交換を行いました。

この学習会は例年家族会の取り組みや、悩み事を共有することで今後の活動に生かすことを目的に、講師も招かず全員参加のディスカッション形式で行われています。

今年度の議題としては、●コロナ予防接種の状況 ●役員の担い手不足の問題 ●家族会開催や連絡手段について ●障害者の65歳問題 について等でした。

それぞれ意見を出し合う中で、新たな知見に触れることが出来て家族会活動の活性化に寄与する学習会になりました。

親の目から

生活支援センターこすもす

河野 紀久子

私たちは通所施設の家族会ですが、我が子らの将来を見据え、入所施設が抱える諸問題を勉強することも大切と考え福祉連に入会しています。通所施設ではグループホーム・シヨートステイ・ヘルパー等を利用しながら作業や余暇活動に参加しています。また同じ法人の入所施設への清掃ボランティア活動を通じて、入所施設の利用者の方と交流を図り相互理解を深めています。

ここ数年、親の高齢化に伴い訃報に接することが多くなりました。家族としては生まれ育った地で安心して最期を迎えてほしいと、入所施設の利用を希望させる方が多いですが、家族の考え方も少しずつ多様化しています。

子どもの年齢が若いうちに入所施設の利用を希望する方もいれば、逆に親が元気な間は一緒に生活した

いと希望する方もいます。

ただ考えはそれぞれ違っても、子どもの幸福を願うのは同じだと思います。入所施設に望むのは、安心して子どもを託せることです。この子たちにとってやすらぎの終の住処であってほしいと願っています。

これからも入所通所の枠に囚われず、共生していくことでお互いの理解を深めていくことができるよう、活動を続けていきたいと思えます。

きょうだいの目から

蓮の実園

庄山 祝

私の姉は今年77歳になり、約40年前から八女市の蓮の実園に入所中です。

姉は7歳の夏、熱射病で入院しました。戦後すぐの頃は医療体制が十分ではなかったため、脳に障害が残りの知的発達の遅れと言語障害もある重度障害者になっています。

若い頃は春先になると情緒不安定となり、精神科医に受診することも

多く、加齢と共に身体の衰えも加速して食欲不振と体調不良で入退院を繰り返すようになりました。

昨年3月コロナ肺炎が流行し始め施設は面会禁止になりました。それまでは月二回私たち夫婦はドライブがてらに面会に出掛け、姉の気分転換と精神安定に努力してきました。その面会が出来なくなつてからは情緒不安定と食欲不振で入院しましたが、病院では施設職員とも面会できず、ストレスが溜まったのか介護の手間が大幅に増えました。

そのために退院後施設から一般老人病院へ移行の相談も受け、私もその気になっていましたが、今年6月に誤嚥性肺炎で入院したとき、リハビリ作業療法を受けて、退院後は別人のように元気になり食欲も回復し施設の作業班にも参加出来るようになりました。

最近では、面会に行っても言語は不自由でも笑顔一杯の顔を見せるようになった姉をいつまでも支援していきたいと思っています。

編集後記

支持率26%まで落とした菅内閣が総辞職して、短い選挙期間で衆議院議員が選出されました。

福祉連は団体として一党支持決定はしない方針です。

理由は知的障害者への理解は、全ての国民・政治家に「同じ人間」として人権を尊重して欲しい願いがあるからです。

また会員の直接利益追求の組織でもないので一党支持決定は活動の妨げになる恐れがあるからです。

しかし北欧4カ国の福祉の豊かさは、87%以上の投票率で、政治への関心が高く、政治家には厳しい国民の目が注がれ、議員への働きかけの運動も根強く行われる結果の高い福祉と聞いています。

私達も政治へ関心を高め北欧なみの福祉を実現させましょう。

♪幸せは歩いて来ない だから歩いて行くだね。一日一歩三日で三歩、三歩進んで二歩下がる。水前寺清子歌